

健康長寿に係る先進的な取組事例

三郷市

～地域の健康づくり推進事業～

(1) 取組の概要

三郷市は、今後急速に高齢化が進むことが想定されており、住み慣れたまちで市民が健康で安心して暮らしていけるまちづくりを推進するため「すこやかみさと（三郷市健康増進・食育推進計画）を策定し、様々な健康施策を展開している。

【地域の健康づくり推進事業】は、町会や自治会等（以下「町会」という。）が主体となって地域住民を対象とした健康づくり事業を行なうものである。住民の健康の維持及び増進を図ることを目的に、平成2年度から町会へ委託事業として開始し、今年で23年目を迎えた。町会主体の事業であるが、市は事業運営が円滑にまた効果的に行なわれるよう、健康づくり推進会議の出席、事業展開等に関する助言、健康教育の講師派遣、研修会等の支援を行なっている。

一時、事業が形骸化していた時期もあったが、平成15年度に市民の健康増進に関する事務を行なう健康づくり係が新設されたことを機に、委託町会以外の町会に対する事業周知や、委託町会への支援の強化を図っているところである。

表1【面積・人口】

①	面積（平成24年1月1日現在）	30.41 km ²
②	人口	134,515 人
③	②のうち65歳以上人口（再掲） ※【 】内は高齢化率	29,639 人 【 22.03% 】

平成25年4月1日現在

表2【人口構造の推移と将来人口】

	H17	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29
総人口	128,278	131,415	133,855	134,606	135,287	136,058	136,978	137,864
40～64歳人口	49,307	46,924	48,729	48,240	47,858	47,360	47,264	47,235
65歳以上人口	17,961	25,618	28,423	31,042	33,504	36,107	38,281	40,192
高齢化率	14.0	19.5	21.2	23.1	24.8	26.5	27.9	29.2

(2) 取組の契機

(ア) 高齢化率の上昇

65歳以上の人口は、年々増加しており、高齢化が急速に進展することが予想されている。

(イ) 三郷市母子愛育会の班員が中心となって町会の健康づくりに取り組んでいる町会があり、事業の趣旨に関し理解を得やすかった。

(ウ) 地域住民が自主的に健康づくりに取り組めるような環境を整えるために、町会という身近な地区組織に委託し、事業を拡大していく必要があった。

(3) 取組の内容

事業名	地域の健康づくり推進事業
事業開始	平成2年度

	平成23年度	平成24年度
予 算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料 上限3万円×26町会 ・ 健康教育講師報償費 (15回分) 10.5万円 ・ 研修会等講師報償費 3万円 <li style="text-align: right;">他 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料 上限3万円×27町会 ・ 健康教育講師報償費 (11回分) 7.7万円 ・ 研修会等講師報償費 3万円 <li style="text-align: right;">他
委託町会数	26町会	27町会
事業開催数	1,184回	1,583回
延参加人数	22,666人	31,399人
健康づくり推進会議開催数	79回	86回
期 間	平成23年4月～平成24年3月	平成24年4月～平成25年3月
実施体制	地区担当保健師、管理栄養士(事業担当)、地域活動栄養士会、健康運動指導士他	地区担当保健師、管理栄養士(事業担当)、地域活動栄養士会、健康運動指導士他
	職員(保健師・管理栄養士)の健康教育講師派遣 延べ32人	職員(保健師・管理栄養士)の健康教育講師派遣 延べ35人

(ア) 事業概要

①地域の健康づくり推進事業の委託申請

- ・ 年間事業計画書、推進委員名簿、予算書の提出
- ・ 事業は「生活習慣病予防事業」か「介護予防事業」のいずれかを選択する。

②事業の実施

- ・ 健康づくり推進会議の実施・事業の企画運営等
- ・ 地区担当保健師が受け持ち地区の町会を支援し、健康教育の講師派遣の調整や推進会議に出席して事業の企画運営の助言等を行なう。

③事業評価・実績報告

事業評価は、原則、健康づくり推進会議で行なう。請求書の提出。

(イ) 取組の効果

①事業委託町会数の増加

委託町会の増加に伴い健康づくり推進会議の開催数も増加しており、地域の健康課

題や地域の現状にあった健康づくり事業についての話し合いがもたれるなど、健康に関する取り組みが広がっている。

②健康づくり事業参加者の増加

町会が主催する生活習慣病予防事業や介護予防事業の開催数が増加し、延べ参加者数も増加しており、地域の健康づくりへの意識の向上や環境づくりが進んでいると思われる。

(ウ) 成功の要因、創意工夫した点

①事業周知とフォローアップ

毎年、市内全町会を対象に、事業の主旨説明や町会同士の交流を目的とした事業報告会・交流会の案内を送付し、事業の周知や意識の啓発に努めている。

また、委託町会が行った事業評価を地区担当保健師も確認し、活動の状況把握や今後の活動の助言を行うなどの育成支援や年 1 回研修会を行うなどのフォローアップを行っている。

②町会主体の特性に合わせた活動を行う

町会主体で、町会の特性や参加者のニーズに合わせた健康づくり活動を行っている。例えば、早朝ラジオ体操を毎日実施していた町会が、参加者の要望でラジオ体操が終わった後に、市が作成した「すこやかみさと健康体操」を追加で行うなど町会独自の活動を行っている。

(エ) 課題、今後の取組

①健康づくり推進委員の高齢化と参加者の固定化

町会自体が役員の高齢化や町会事業の参加者の固定化という課題を抱えている。今後もさらに、住民にとって魅力的な健康づくり事業の実施を支援し、新しい参加者を増やし、ひいては推進委員の拡大がするよう図れるよう努める。

②事業の効果が見えにくい

アウトプット評価だけでなく、委託町会毎のプロセス評価も行っているが全体的な事業評価ができていないため、今後はプロセス評価についても経年変化や課題把握などに生かしていきたい。